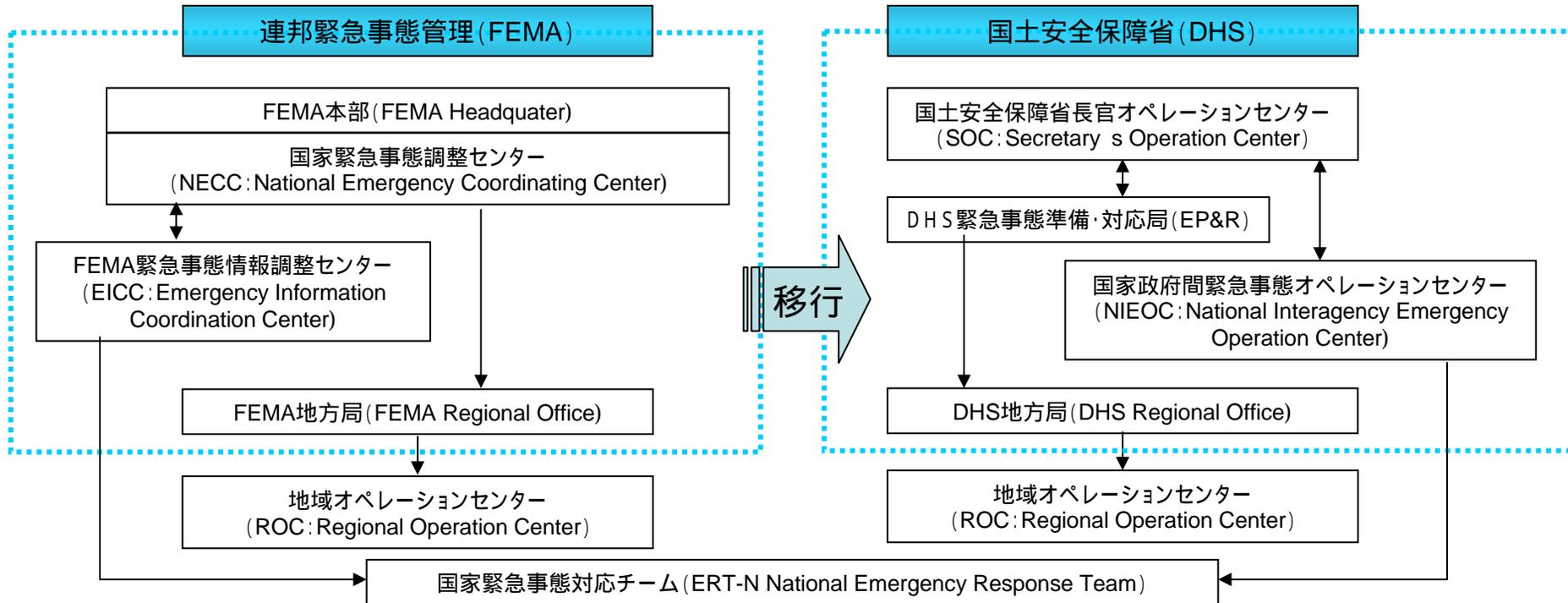


# 提言骨子関連資料

# 米国・国土安全保障省 (Department of Homeland Security) の設立

## 2002年11月、米国において国土安全保障省(DHS)の発足

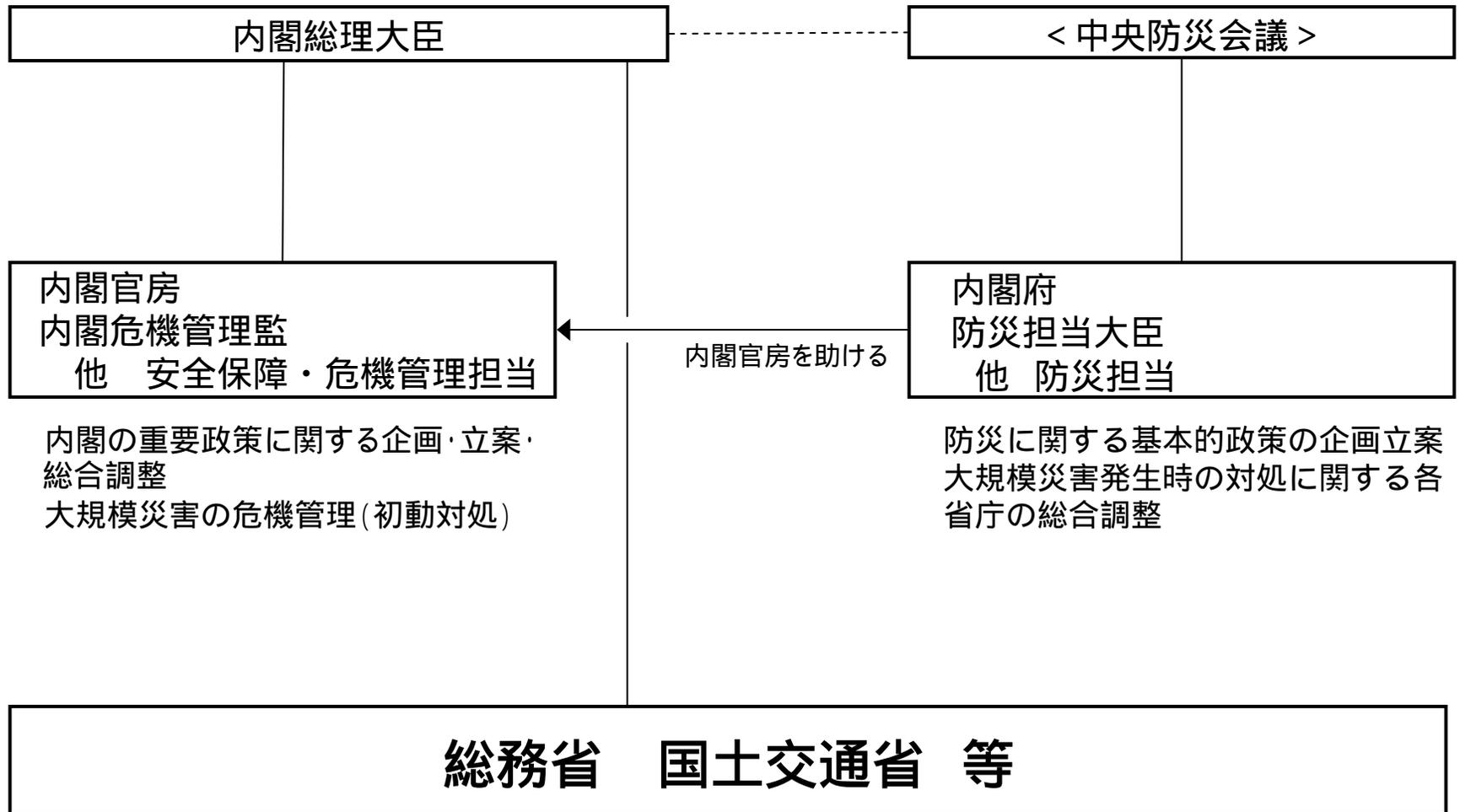
2001年9月11日、同時多発テロ以降の米国の国家安全保障政策として、危機管理に対する省庁間の連携を図るため、22の省庁と連邦政府機関の関連部署を一つの省として統合した国土安全保障省を2002年に設立。自然現象が原因で直面する危機管理に対応する連邦緊急事態管理庁(FEMA)の責務は、組織と機能が国土安全保障省(DHS)内の緊急事態準備・対応局(EP&R)にそのまま移管される。



## 組織の運営・組織内のコミュニケーションにかかる課題・問題点

国土安全保障省(DHS)は、結束した連邦機関間の組織を作り出すことを目指しているにもかかわらず、地理的に分断されていることと、頻繁にスタッフが替わる状態のため、指揮系統のフローと対応が未だ機能していないとの指摘がある。

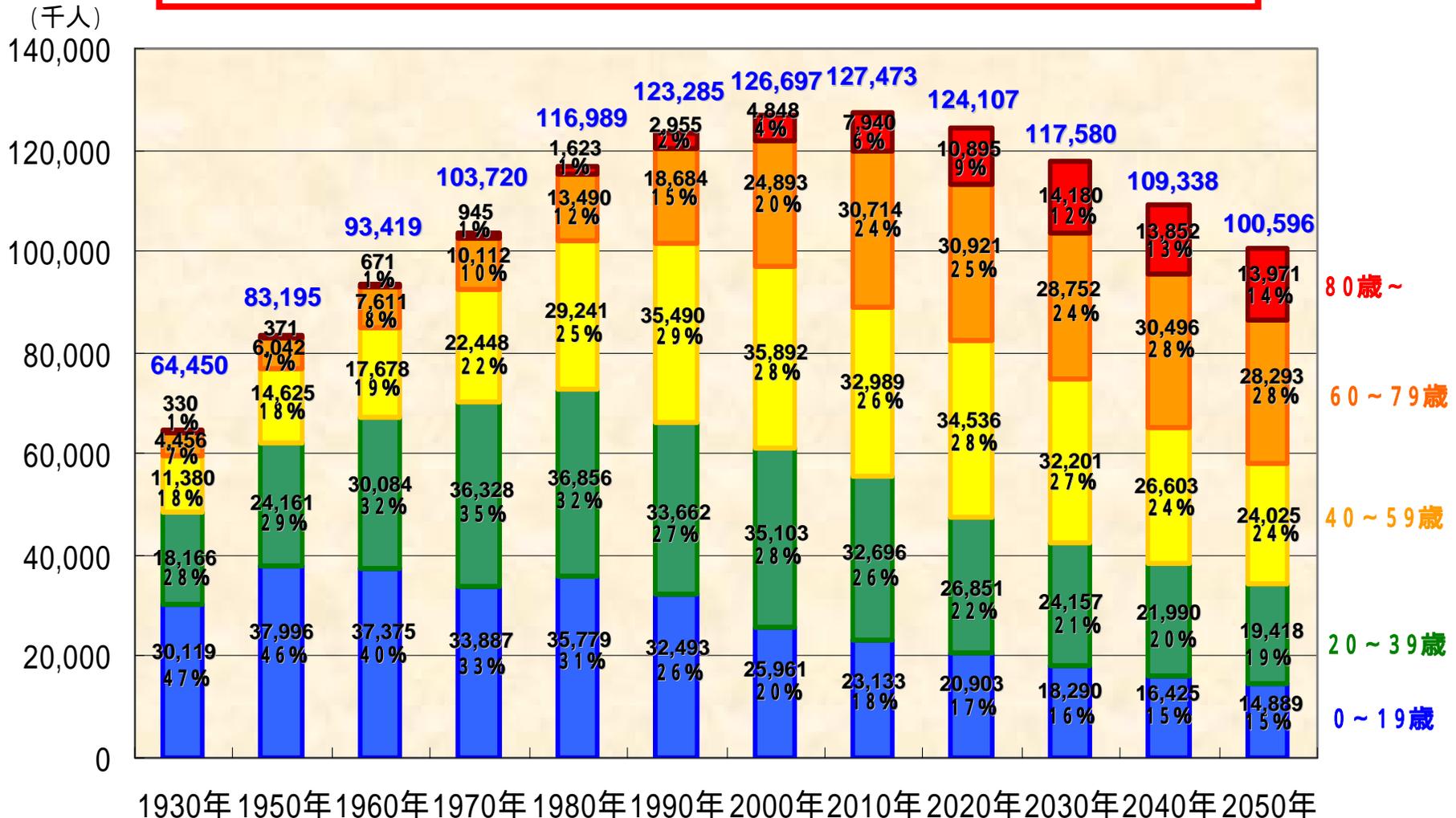
# 我が国の大規模災害対応の体制



内閣官房安全保障・危機管理担当及び内閣府防災担当  
の資料より、河川局海岸室にて作成

# 日本の世代別人口動態の推移

	2000年	2030年
60歳以上の人口 (構成割合)	2,974万人 (24%)	4,293万人 (36%)



1930年 1950年 1960年 1970年 1980年 1990年 2000年 2010年 2020年 2030年 2040年 2050年

# 地球温暖化に伴う海面上昇

## 20年後の海面上昇は、3cm ~ 13cm

気温とともに海水温度も上昇し、海水の体積が膨張して海面が上昇。  
陸上の氷河やグリーンランド等の氷がとけて海に流れ込むと海面が上昇。  
世界の科学者が最新の研究成果をまとめた結果、2100年までの間に海面は最大88cm上昇することが予測。これに従えば、20年後は3cm ~ 13cmの上昇  
仮に1 m海面が上昇すると、90%の砂浜が喪失する可能性が指摘

